

2020年(令和2年)

1月29日
水曜日

地域とともに

発行所

山陽新聞社

岡山市北区柳町2-1-1

電子版山陽新聞デジタル

https://www.sanyonews.jp



桂スチール

備前にH形鋼新工場

建設用鋼材メーカーの桂スチール(兵庫県姫路市)は、備前市友延に新工場を建設する。高層ビルなどに使われる主力の鉄骨「ビルトH形鋼」(BH)の組み立て設備を導入。フル稼働が続く既存工場から一部製造を移してBHの生産を平準化し、効率を高める。3月に稼働予定で、投資額は約17億円。

(大島望)

るBHの組み立ての一部を移すことで生産効率を7、8%高め、従業員の残業時間の削減にもつなげたいと考えてだ。

同社のBHは、今年の東京五輪でメイン会場となる

新国立競技場などで使われており、国内シェアは4割弱に上る。同社によると、五輪需要で好調だったBH生産量は今後一服するものの、都市再開発などで一定の受注が続くという。

三木桂吾社長は「新工場は従業員の働き方改革を進める狙いもあり整備を決めた。効率化を追求していきたい」としている。

桂スチールは、東京スカイツリー(東京)やあべのハルカス(大阪)の構造材にも納入実績がある。1985年設立。資本金5750万円。売上高約145億円(2019年9月期)。従業員約210人(パート含む)。

新工場は、パナソニックの旧工場跡約5万平方メートルを購入し、昨年9月に着工した。鉄骨平屋約7千平方メートルに、鋼材をH形に組み立てるラインを設置。自動溶接する自社開発の装置を2台導入するほか、溶接前の仮組みや溶接後のゆがみを矯正する機械を配置する。建物の外には製品を保管するヤードを整備。最大20メートルまで対応した門型クレーン6基と、雨にぬれるのを防ぐテント(約千平方メートル)を設け、各工場で製造したBHなどを集約して全国に発送する物流拠点とする方針。工場跡に残っていた社宅も改修して、社員が利用できるようにする。同社の製造拠点は備前市

3月稼働 工程移し効率化



桂スチールが建設しているH形鋼の新工場＝備前市友延

内に4カ所、玉野市内に岡山第1工場(備前市吉1カ所ある。新工場には永町神根本)で行っている